

木本港（海岸）景観まちづくりプロジェクト事業の完成について

熊野市木本町の木本港海岸において平成25年11月から進めてきた景観まちづくりプロジェクト事業が平成28年3月に完成しました。

この事業は、観光客や地元住民が海岸の散策を楽しめるよう、地元住民代表等をメンバーとした協議会を立ち上げ、それぞれの意見を集約化しデザインを決定し、海岸堤防を修景化してきました。



堤防と並走する国道42号側に壁高欄を設け、堤防天端はアスファルト舗装を施しました。舗装面には市内の路地でよくみられる、舗装に点々と張られた石張を模したものを埋め込みました。また、石張の中心にはLEDを設置し、夜間には点灯するようになっています。



壁高欄には防犯上の観点から、半透明の亚克力板を数箇所設けています。



壁面には熊野大花火大会でみられる海上自爆をイメージした模様を施しています。



また、堤防天端にアクセスするための昇降施設（スロープと階段）を南北2箇所を設置しました。登りきった所には休憩用のベンチを設けています。



そして昇降施設の壁面には熊野市をイメージしたリレーフを作りました。
北側は熊野大花火大会をイメージ



南側は獅子巖と熊野古道をイメージしたものです。



地域の皆様には、ご不便とご迷惑をお掛けしながらも、ご理解とご協力をいただき、関係者一同感謝しております。

そして、デザイン決定に携わっていただいた、地元住民代表をはじめとする協議会メンバーにおかれましては、改めまして御礼申し上げます。

今後ともよろしく申し上げます。